

広報委員会  
(第24期 第4回)  
議 事 要 旨

1. 日 時 平成30年10月3日(水) 12:00~13:30
2. 会 場 日本学術会議 2階 大会議室
3. 出席者 渡辺委員長、町村副委員長、多久和幹事、大倉幹事、伊藤委員、三成委員、荒川委員、所委員、松宮委員、隠岐委員、嶋田委員、辻委員、橋田委員、山川委員  
(ビデオ) 渡辺(芳)委員、隠岐委員
4. 配布資料  
資料1 年次報告第一編(広報部分抜粋)  
資料2 年次報告第二編(広報委員会・分科会部分抜粋)  
参考1 広報委員会 委員名簿  
参考2 前回議事要旨
5. 議 事
  - (1) 各分科会の年次報告確認  
・資料1、2が配布された。
  - (2) 各分科会への意見と提案

【「学術の動向」について】

- 伊藤委員より、「学術の動向」の編集に関して以下の説明があった。
- ・財団に「学術の動向」編集企画経営委員会を設置し、第1回を7月に開催したところ。前回の広報委員会での議論を踏まえて、アクセスを調べたところ、SDGs、教育、子ども、ジェンダーに関する特集が、Webのアクセス数が多く、販売数も多いことが分かった。
  - ・学会が行っている若手への表彰についての紹介ページ、4~5人の常連執筆者にお願いする連載のページ、提言を、高校生でも読めるような、分かりやすく紹介するページ、提言のフォローアップのページが必要ではないかとの意見がある。
  - ・編集委員会からの提案型の企画も考えてはどうかとの声もある。
  - ・10月の同委員会では、科学ジャーナリスト、新聞記者を招いて、学術の動向への感想、どういった工夫が必要かというヒアリングを企画している。

○その後、「学術の動向」について意見交換が行われた。意見は以下の通り。

（「学術の動向」の広報について）

- ・学術の動向のHPにもっとアクセスするように、ホームページを工夫し

てはどうか。

- ・賛助会員への勧誘の際、内容のわかるチラシを入れたほうがいい。元々会員だった人は読んでいたから分かるが、新しい会員は分からないのでは。カラーのパンフレットを入れる等してはどうか。
- ・日本学術会議の関係者にも購読を呼びかけたほうがいい。会員及び連携会員、協力学術研究団体等にも、ホームページ等で広報してはどうか。
- ・サイエンスカフェ、シンポジウムには科学へ興味のある一般の方も多く来場している。PDFでも配れるフォーマットがあれば、チラシとして活用してもらえないのではないか。

#### （「学術の動向」の内容等について）

- ・原稿の提出から発行までの期間が短く、機動性がある。そういった点を活用して発信できるものがあるのではないか。
- ・難しいものを分かりやすく解説するような記事を書いてもらってはどうか。
- ・多岐にわたる分野の特集が組まれており、バラエティに富んでいると思う反面、季節感がないと感じる。良い面でもあるが、特集を企画する際に工夫してはどうか。
- ・自動運転など、世間に注目されている分野を特集にしてはどうか。
- ・編集長不在は大きな問題。内容を厳しくチェックできる者がいないので、特集によって完成度に差がでてしまう。原稿が来るのも遅いので、完全なダメ出しが難しい。
- ・今後、若手や次の世代を対象としていくとなると、Webサイトとのバランス関係が重要ではないか。内容によって、Web記事、紙媒体での記事を切り分けるなども考えられる。

#### 【国際発信について】

- ・SDGsと学術会議のページに、それぞれの提言のコンタクトパーソンを記載してはどうか。
- ・169のターゲットを評価軸にしてはどうか。→総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会で行う。
- ・SDGsの中で特に取り組むべき問題としては「ジェンダー」が挙げられる。ジェンダーの話題は、国内向けも海外向けも必要ではないか。
- ・海外のアカデミーのHPを見ていると、①英語版が日本語版のコピーで、クリックすると内容自体は自国語であるもの、②英語独自のコンテンツ、③パンフレットの役割のみのもの、がある。日本学術会議の方向性については今後検討する。
- ・動画については、英語版HPを見る人がどういう人たちなのかという前提を考えて、配信する内容を企画する必要がある。

#### 【日本語版HPについて】

- ・学術フォーラムやシンポジウム等の動画を配信してはどうか。

- シンポジウム等を、エッセンスに絞って 2~3 分の動画に編集して配信するのか、フルで配信するのか、委員会としてコンセンサスをとって議論したほうよい。→今後、ホームページ編集分科会で検討。
- Power Point のアニメーション機能を使って動画を作成してはどうか。
- YOUTUBE を使って、リンクを貼ってどうか。(YOUTUBE はホームページに埋め込みはできない。)